



〒108-0071

港区白金台

3-7-1

3443-5666

<https://shirokanedai-kg.minato-kyo.ed.jp/>



リンクを修正しました！



5歳児の『みんなのおまつり』



おまつり後に作った4歳児のお店



園庭にできたお店で遊ぶ3歳児



幼児期の遊び=学習

園長 佐々木 勝世

先日は、5歳児が自分たちで考えてつくった6つのお店で遊ぶことができる『みんなのおまつり』が開かれ、3・4歳児や近隣の幼稚園・保育園の子どもたちが招待されました。お客さんになった子どもたちは、遊び方を教えてもらいながらお店を楽しみ、みんな笑顔で帰っていきました。

もっと遊びたかった4歳児はその後、自分たちでお店をつくり始めました。3歳児は、5歳児が後日園庭に開いたいくつかのお店で、満足がいくまで繰り返し遊んでいました。おまつりを終えた5歳児の顔には、やり遂げた満足感がうかがえました。

幼稚園では、このような遊びを中心とした総合的な指導を通して、子どもたちを育てています。幼児期の遊びは、学習であるとも言えます。しかし、「遊び=学習」と言われても、なかなかピンとこないかもしれません。

では、そもそも幼稚園での「遊び」とは、いったいどのようなものなのでしょう。考え方はいろいろありますが、その一つをここで紹介します。

遊びとは…主体的な「自己決定」と「問題解決」の繰り返しによる「自己実現」の営み

幼稚園での遊びは、「あなたは今からこれをしなさい」などと、誰かに与えられるものではありません。子どもたちが自分で見付けたり、考えたりして創り出すものです。

何をして遊ぶか、誰と遊ぶか、どこに場をつくるか、何をを使うか、どんな方法をとるかなどは、全て自分で選び、決定します。

したいと思ったことが、いつもうまくいくわけではありません。作り方が分からない、一緒に遊ぶ友達と意見がぶつかる、でも自分一人だけでは難しいなど、遊びの中では様々な問題に直面します。それらの問題を試行錯誤しながら解決していきます。

そして、あきらめずに自分の思いが実現できたときには、やった！楽しかった！またやりたい！今度のもっとこういうふうにしてみよう！などと、満足感や更なる意欲をもちます。

これらの経験は、小学校以降の学習に向かう姿勢、さらには「人生をどう生きるか」に直結するものであり、まさに重要な学習であるといえます。

本園では引き続き、遊びを中心とした幼児期にふさわしい生活を通して、「自分のよさや可能性を信じ、多様な人々と協働しながら豊かな未来社会を切り拓くことができる力の基礎」を子どもたちに育んでまいります。

<7月の指導のねらい>

3歳児

- 水の冷たさや心地よさを感じながら、いろいろな水遊びを楽しむ。
- 着替えや所持品の始末など、身の回りのことを自分でやってみようとしたり、できるようになったりする。

4歳児

- いろいろな水遊びを通して水に親しみ、自分なりの動きを楽しむ。
- 自分の思いやイメージを言葉や動きで表現し、相手の思いを知って自分なりに受け止めようとする。

5歳児

- 自分の思いや考えを伝えたり、友達の思いや考えに気付いたりしながら、友達と一緒に遊びを進めていくようにする。
- プール遊びや水遊びを通して、繰り返し挑戦したり、自分なりに試したり工夫したりすることを楽しむ。
- 身近な自然や栽培物を見たり、世話をしたりして面白さや変化に気付き、友達と伝え合う。

